

百二十周年事業として、伝統校の慣習に倣い同窓会名簿を作成することが五月の総会で決まりました。百年周年以来の発行になります。名簿掲載の可否につきましては来年の年明け頃から調査をおこないますので、ご協力をお願ひ申し上げます。

先日、平成二十八年度卒業生三六〇名の同窓会入会もいただき、新制になつて二三五七四名とのことでし
た。日頃服装の自由な所高生にあつて、今回の卒業式は、殆ど女子が和装で出席されました。驚きでした
が素晴らしい、大学生と錯覚してし



来年は
創立二〇〇三

同窓會會長
松本明信

松本明信

皆さんこんちは、如何お過ごしですか。会長の任を仰せつかつて早五年たちました。百周年の記念事業からも二十年を迎えます、ご協力頂いた同窓会館「希望の鐘」も卒業生・在校生に好評で、自習室や部活など、また会議や合宿など多義に、かつ有効に活用いただいています。

さて、同窓会事業のひとつとして、好評をいただいています現役在校生に向けた「在校生支援事業」も昨年は「福祉について」をテーマに副会長の本橋栄三社会福祉協議会会长に、また、平成十五年三月卒業の弁護士、河原崎友太さんの講演「司法への道弁護士の仕事とは」を行いました。多くの参加に感謝です。

同窓会としても、皆さんの同期同窓会など企画がありましたら、是非ご一報ください。

今年も九月の「所高祭」にはコメナーを設けます。異世代交流に期待も大きいので、是非お出掛けください。

今 学校と地域の連携が何だと論
題になります。所沢高校も校長先生
はじめPTAの皆さん、とりわけ生
徒の皆さんとの、地域との交流は素晴
らしいものがあり、評価をいただい
ています。文武にプラス地域活動に
エールを送ります。

今年の進学状況も掲載させていた
だきましたが、皆さん頑張りました。
先日も卒業生の心温まるお話を聞き
ました。認知症の高齢者が道に迷つ
ていたところ、二時間以上も色々な
手を尽くし無事自宅まで送ったとの
こと、また、交通事故の現場に居合
わせ、交通渋滞が発生し、道路が混
雜した際、臨機応変な行動をとつて、
多くの方に感謝されたとのこと。
今後、学校と地域の連携が何より大切

卷之三

2017年(平成29年)
7月発行
埼玉県立所沢高等学校
同窓会
所沢市久米1234
☎04(2922)2185

出る杭を伸ばす

校長 曾根一男



埼玉県の公募による民間人
校長第一号として平成二十一年度に採用され、南稜高校、上尾高
校を経て平成二十九年度より本校に着任しました。よろしくお願ひします。

私はいま創立百十九年の所沢高校の歴史と伝統を学び、現在の学校の有り様を見つめ、百二十年の節目を越えてゆく本校のさらなる発展の方
向性について考えています。

もちろんこの大きな船の進路を私ひとりで操ることなどできません。
代々引き継がれてきた様々な行事、組織、慣例、施設そして独自の校風や豊かな文化があります。いまこの船に乗っている生徒たちの希望、彼らを支える教職員の思い、そして同窓会の皆さんや地域の方々の期待……。それらを最大限に尊重しつつも、時には優先度をつけ、取捨選択をしなければならないことがある

所沢高校は多様な分野で個性豊かな尖った人材を育む学校であるべきです。その観点から、例えば学力・進学については東大合格者があるべきです。過去にはあつたのですから、良き伝統は復活させなければなりません。

感しています。自己指す方向性について現時点での考え方を一つ述べます。前述の「③自立／自由」は、本校の最も大切な価値観です。これには集団としての生徒（生徒会）の自治という側面もありますが、生徒ひとり一人の意思や個性、多様性を広く認め尊重し、各自の潜在能力をそれぞれの方向に存分に顕在化させることに最大の意義があります。

四月十日、生徒との初対面の始業式で、創立百周年記念誌などから私が理解した所沢高校のDNAとして次の4点を指摘しました。①グローバル人材指向 ②実学重視の伝統 ③自主自立／自由 ④変化への対応力
まだわずかな期間しかここで過ごしていませんが、個性豊かな生徒たちの様子、多彩な部活動や生徒主体の行事運営、そして生徒のために手間暇を惜しまない教職員の姿を中心に、伝統校の力と大きな可能性を実

＝ 目 次 ＝

- (6) (5) (4) (3) (2) (1)
同窓会長・校長あいさつ
在校生支援プログラム
（活躍する卒業生）
卒業しました どうぞよろしく
国際交流活動
部活動紹介

(12) (11) (10) (9) (8) (7)
同窓会報告
同窓会報告・寄稿文
事務局から
平成二十九年度 進路実績
同窓会役員名簿・決算・予算報告

在校生支援とわたし

昭和四十三年卒業
所沢市社会福祉協議会会长
同窓会副会長 本橋栄三さん

所沢高校同窓会では、毎年在校生に何か協力や支援が出来ないかと、卒業生による体験談や思い出話などを話すという企画で在校生に支援をしております。この度私こと、同窓会長より推薦をいただき「身近な福祉から社会のあり方まで考え方」と題し、十一月十九日、同窓会館・希望の鐘で講演をさせて戴きました。当日は、生徒会の方を含め興味のある生徒が集まり質疑応答も多く時間の過ぎることを忘れるようでした。

私は、所沢市社会福祉協議会会长を仰せつかり早四年が経ました。高校生に「福祉」と問うと、一般的に高齢者介護と障害児者と返答が来ました。そこで高校生の立場から、「もし父母が病気になつたり、交通事故で働けなくなつたり、不慮の死をしてしまつたならどうしますか?」と問い合わせてみました。自分一人では、どうしようもない。そこで自助・公助・共助があることになりました。「ふくし」とは、「普段の暮らしが

しあわせ」のことを福祉と言います。と話すと「誰もが、自分自身が健康で高校生活をエンジョイ出来る事が当たり前でなく、幸せなんだと深く感じられてよかつた」など感想文に書かれており印象的でした。

豊かな国・日本の中にあって、相対的貧困な子どもたちが六人に一人いること。加えて、親と一緒に食事が取れず孤食の子がいること。食べるものがなく困っている現状の中で、

社会福祉協議会では、食べ物を届けるフードドライブ活動や、「子ども食堂」を開設し地域のボランティア・民生児童委員の皆さんと協力してあります。この話も大変興味深く耳を傾けておりました。この講演会の後、参加された高校生の感想文を拝見させていただくと、自分の今後の進路に「福祉」の分野を加えたいとか、自分たちが今、幸せの真っ只中に入ることを当たり前に思わず、出来る限り福祉ボランティアなどに参加したい。という前向きな言葉を戴き感激をした次第です。

終わりに、所沢高校の伸びゆく青年像に象徴される「自主・自立・自由」について、私なりの見解を話しました。そして、所沢高校在校生に

「在校生支援プログラム（活躍する卒業生）」

講演会の感想

三年 小峰侑馬

改めて、世の中を変えるのは、①若者②よそ者③バカ者。そして、若者の力がこれから日本の原動力であることを力説させて戴きました。最後に、古くて新しい言葉として、札幌農学校クラーク博士の「少年よ大志を抱け・・」を在校生に捧げるとともに、所沢高校の益々の発展と若者たちの前途に幸多かれと健闘をたたえ講演会を終らせて戴きました。

お話を聞いて福祉の幅広さや活動内容を知ることができました。少子高齢化が問題になつていてることは知つていましたが、それによる影響が子どもの孤食だつたりと、ただ単に高齢者が多くなつて今後の日本が大変になるだけではないと思うと私が今まで思つていた以上に深刻な問題であることがわかりました。サロンやコミュニティーソーシャルワーカーといつた活動も思つていた以上に興味深い話が聞けたのがとても良かったです。青年像の話や学生運動の話など今では考えられない内容があり、とても面白いと思いました。

講演会に参加して

二年 横関彩音

また、所沢高校の歴史についても興味深い話が聞けたのがとても良かったです。青年像の話や学生運動の話など今では考えられない内容があり、とても面白いと思いました。



司法への道 弁護士の仕事とは

平成十五年卒業

弁護士 河原崎友太さん
浦和法律事務所勤務

弁護士になつて七年目を迎え、所属する事務所でもやや中堅に近づいてきました。弁護士の仕事で最もイメージやすいのは刑事案件の弁護人かと思いますが、実際には刑事案件の割合は全体の一割くらいで、遺産分割、交通事故、離婚といった案件が大半を占めています。

弁護士の仕事は「事情の聴取」からスタートします。実際に紛争に遭遇した相談者や依頼者の方から、その人が体験したこと、知覚したことを見き取ることで、事案を把握するわけです。簡単に聞こえるかもしれません、この作業が実は非常に難しい。

依頼者の方が頭の中に持っている情報の中にどのような情報があるかは当然こちらには見えません。そのため、まずは、こちらが必要と考える情報を中心に情報の聞き取りを進めます。そうすると、依頼者の方は、弁護士の質問に対し、「（回答の周辺事情）どこまで回答する必要

があるか」を選別して回答をします。つまり、「これは話してもいいのかな？関係ないかもしれないから話さなくていいか。」という具合です。

依頼者の方が「話さなくていいか」と判断した部分について、その後の質問で聴取できることもありますが、そのまま流れていってしまうこともあります。そうすると、実は大事な部分であるにも関わらず、事情聴取がされないという事態があり得るわけです。ここが非常に悩ましい。

私自身は、弁護士の仕事を、「1（イチ）」を「0（ゼロ）」にすることではなく、「1（イチ）」のものを「1（イチ）」と正確に理解してもらうことであると考えています。

なので、私は、特に初回については気持ちよくお話を聞くことを大事にしています。依頼者の方が少し喋りすぎたかなと思うくらい、私が「そのお話はもうお腹いっぱいです。」「くらいがちょうど良い。

弁護士の仕事の入り口だけの紹介になってしましましたが、弁護士の仕事に興味のある在校生、卒業生の方がおられましたら、是非是非、事務所まで遊びに来ていただければと思います。

講演会に参加して

三年 本澤由紀

刑事ドラマや映画などで「弁護人」や「被疑者」などの言葉は聞いたことがあります。今日の講演でたくさん発見がありました。実際に判例や知っている芸能人の話などで分かりやすく説明していただけてとても貴重な体験でした。自分は「司法試験を受けたい！」や「法学部に進学したい！」という思いがあつた訳ではなく、「貴重な機会だなあ」と思い参加しました。今日話を聞いてみて「法」の道に興味を持ちました。弁護士という仕事にたくさん疑問は持っていましたけれど「唯一被疑者を守れる仕事」「双方をつなぐ仕事」「言い分を伝えることができる仕事」と聞いて、とても素敵なお仕事だなと思いました。

刑罰に関して、多重の罪に問われた場合、すべての総合として罪状を分かれて一つ一つ裁判をするということを知ることができて本当に良かったです。裁判員制度の対象年齢に近づくこともあり、もつとよく法のことを学んでいきたいと思います。

接に関わる法でもここまでしつかりと考え、学ぶことはあまりなかつたので非常に自身の後学のためになりました。また現司法試験と旧司法試験が違うことを初めて知ることができ、現と旧ではかなり内容が違うことに驚きました。

刑罰に問われた場合、すべての総合として罪状を分かれて一つ一つ裁判をするということを知ることができて本当に良かったです。裁判員制度の対象年齢に近づくこともあり、もつとよく法のことを学んでいきたいと思います。



講演会の感想

三年 東原浩一郎

非常に分かりやすく、かつ専門的に教えていただきとてもありがとうございました。

二〇一七年三月卒業しました どうぞよろしく



平成二十九年三月卒業
橋本 幸太

きは必ず、私自身の意見をじっくり聞いて、そしてそれを尊重してくださいました。そのような向き合の方をしてくれた市原先生のおかげで、今のがあるのだと思う。

このように素晴らしい恩師や、部活動で副部長を務めたおかげで、三年になつたときには、自分で考え、意見を発信することが少しばら出来るようになつた。それと同時に今まで感じたことのない学校の楽しさを知った気がした。卒業を意識し始めているからだと思っていたが、それはほんの一要因に過ぎず、本当の理由は長部先生が最後の学年集会で示してくださつた。



平成二十九年三月卒業
平良 優花

楽しいと思わなくなり目標も達成できいないなど思うようになりました。そんな日々が長く続いてしまつたので改めて今後の練習にどう取り組むか考えることにしました。考え方の結果、どんな状況であつても何をしなければ変わらない、もし後悔するのであればやらないよりやつて後悔する方が良い、今は必死に練習に取り組もうと思いました。最終的に目標は完璧に達成できたとは言えず、引退試合も後悔は残つていますが、部活をやつてきた三年の中でも今まで努力が報われたなと思う瞬間がありました。回かはあつたので諦めないで良かつたなと思います。

所沢高校での最後の学年集会で、「所沢高校は自由な学校ではない。自由を摑む学校だ。」と三年生に向けて長部先生がおつしやつた。この時、自分がずっと勘違いしていたことに気付いた。

所高生活の中で、私は「自分の頭で物事を考えること」をあまりしてこなかつたように思う。先生方の言葉を鵜呑みにしたり、周りの考えに流されたりしていた。それはこの所沢高校において最も良くないことだつた。自分の考えを表明する機会が豊富なこの学校では、自分の意見をしつかりと発信してゆくべきだったと今は思う。

中堅学年となり、このままではいけないと思つていたとき、私を変えてくれたのは担任の市原先生だつた。私が所高で一番好きな先生であり、最も信頼している先生だ。いつでも相談に乗つてくれて、そのようなど

「自由を摑む」、そう言われるとしても大変なことのように聞こえるが、実際は少しずつでも自分で考えて行動したり、意見を表明することが大切で、その積み重ねが「自由を摑む」ために必要なのだろうと思いつつだったのである。

私の三年間は、手探り状態の失敗だらけで、何を学ぶことができたのかは未だ定かではない。しかし、最後に摑むことができた糸の端を、この先ずつとたぐり寄せながら前に進んでいこうと思う。

(東京理科大学 経営学部 進学)

私は小学生の頃からバスケットボールをやつていたので、高校でもバレー部に入り、自分達の代では、部長という役職にもつかせていただきました。そのこともあり、私はチームをまとめていく立場として、個人としてそれぞれの目標を立て、その目標を引退までに必ず達成しようと決心しました。練習が始まつてすぐの頃は頑張ろうという気持ちが大きかつたのですが、時が経つにつれて、今の自分のやり方で皆はついてきてくれるのか、とか本当にこれで正しいのかと悩むことが多くなりました。その影響からか私個人の精神面や技術面のレベルも下がつてしまつました。この頃から部活に行くのが嫌になつてしまい練習もバスケも

これから学んでいくことは新しいことばかりで厳しい道になると思いますが、この三年を糧にして毎日地道に頑張ろうと思います。

(東京理科大学 理工学部 進学)

所沢高校の国際交流活動

所沢高校では積極的に国際交流活動を行っています。今回は主な国際交流活動を紹介します。

★ニュージーランド語学研修

本校では隔年で夏休みを利用したニュージーランドへの語学研修を実施しています。平成28年度は1・2年生の希望者30名が参加しました。

ホームステイや現地校での英語研修・授業への参加を基本に10日間の研修を行いました。研修の参加にあたっては、個々人で研究テーマを設定し、現地でのインタビューを踏まえて記録集の発行へとつなげています。また、グループで「昔話」・「折り紙」等テーマを決め、現地の生徒に英語でプレゼンテーションをするという活動も行いました。準備に時間を掛け、悪戦苦闘しながらも、工夫を凝らした発表をすることができました。

帰国後に発行した記録集の中には「様々なことが詰まつた10日間はとても充実したものになり、自分自身を強くしてくれました。」「日本では出会えなかつた自分に出会えてうれしかつたです。」といったような感想が見られました。

★海外日本語教師との交流事業

夏休みの1日を利用して、海外で日本語を教える外国人教師の方と日本語で交流しています。平成28年度は、27か国52名の日本語教師の方に本校を訪問していただき、約30名の本校生徒・10名の本校教員との交流会を実施しました。自己紹介、自國の文化紹介を終えた後、「日本の長所・短所」「人生のパートナーに求める条件」「人生の中で大切なことは?」といったテーマでディスカッションを行い、さまざまな文化や価値観に触れることができました。中には自信を持つて日本の文化を説明できずもどかしさを経験した生徒もいたようですが、それは今後の学びへの原動力となりそうです。日本語教師、本校生徒・教員双方にとって大変有意義な研修会となりました。

★フランスへの短期留学

フランスリヨン市にあるオブローザ高校への短期留学に挑戦する生徒もいます。ホームステイを基本に英語の特別プログラムを受講しながら、フランス文化に浸ります。平成28年度は1年生が1名参加しました。

★留学生の受け入れ

平成25年度・28年度にはフランスから、平成27年度には台湾からの留学生を約1年間受け入れています。留学生には、授業・行事への参加、場合によっては部活動の参加も含めて所高生と同じように日々活動してもらっています。日本語での日常会話を不安を抱えた状態で来日する留学生がほとんどですが、日々の生活の中で周囲の生徒やホームステイ先

の方の支援・そしてなにより留学生自身の努力によって日本語を身につけ、帰国直前には全校生徒の前で5分ほどの日本語でのスピーチができるようになる留学生もいます。そんな留学生に刺激を受け、語学習得に熱を入れている所高生も少なくありません。

【NZ研修 現地校前にて】



【日本語教師との交流】



ギター部



部長 福永 由海
副部長 永田菜保美 新藤 雅也
平成二十八年八月一日、私たちギター部は第四十回全国高等学校総合文化祭広島大会に出場させていたただきました。大会では「パルティシヨンオラージュ」、「丘を越えて」の二曲を演奏しました。たくさんの練習を重ねたこれらの曲を、全国から集まってきた学生の皆さんとの前で演奏したことは、とても貴重な経験となり、部員の仲をより深めることができました。

現在ギター部は一年生十五人、二年生二十四人、三年生三十二人の計六十一人で、週五日練習を行なつております。週に一度、外部のコーチに来ていただいて指導を受けています。ご指導は厳しいですが、その分、多くのものを得ています。

昨年、十月のコンクールでは特別金賞をいただきました。そのほかに、九月の文化祭では体育館で発表を、十二月には所沢中央公民館でクリスマスコンサートを行いました。

所沢高校の歴史ある「自主自立」の精神のもと、私たちは先生方やコ

ーチのお力も借りながらではあります。ですが、部長、副部長を中心には生徒主体で部活動に取り組んでいます。ギターを通じ、自分たちで目標に向かって活動していく日々は、とても充実していくかけがえのないものです。

今年七月二十四日(月)に所沢ミニーズのマーキーホールで行う定期演奏会に向け、部員一同練習しています。三年生部員はこれまで引退となりますが、お時間のある方は是非お越しいただけます。おとどりなども嬉しいです。

主な成績は、学総大会で六名が地区大会上位で県大会に出場し、指定の標準記録突破が出席条件で社会人も出場する埼玉県陸上競技選手権にも出場する埼玉県陸上競技選手権にも出場しました。七月に行われる国体予選でも好記録を出すものが多かったです。夏休みには暑い中の練習はもちろん、霧ヶ峰高原での合同合宿を行いました。この合宿は、東京・京都・奈良などのいくつかの強豪校が集い、高いレベルのブロック練習を行うものです。新人大会では、三名が地区予選から県大会に進み、内一名が男子二〇〇mで関東新人大会に出場しました。そして、関東新人大会では三位に入賞しました。駅伝は中長距離ブロックの人数不足で、女子は不出



陸上競技部



平成二十八年度は、部員五十六人(三年生二十人、二年生十人、一年生二十六人)でスタートしました。活動は週五日(日曜日は休み、木曜日は各自)で、陸上競技専門の顧問がいないというハンデに負けずに、コーチと部員で練習を考えながら一年間活動をしてきました。

主な成績は、学総大会で六名が地区大会上位で県大会に出場し、指定の標準記録突破が出席条件で社会人も出場する埼玉県陸上競技選手権にも出場しました。七月に行われる国体予選でも好記録を出すものが多かったです。夏休みには暑い中の練習はもちろん、霧ヶ峰高原での合同合宿を行いました。この合宿は、東京・京都・奈良などのいくつかの強豪校が集い、高いレベルのブロック練習を行うものです。新人大会では、三名が地区予選から県大会に進み、内一名が男子二〇〇mで関東新人大会に出場しました。そして、関東新人大会では三位に入賞しました。駅伝は中長距離ブロッ



でした。また、練習や大会だけではなくボランティア活動にも参加しました。所沢市立南小学校において、児童対象の陸上競技教室をおこない、短距離と長距離に分かれて速く走るためのコツなどを教える機会をいただきました。

昨秋以降の冬季練習を経て、今は学総大会の地区・県・関東予選の真っ只中です。新入生を迎えるたなページを刻むことと思っています。応援よろしくお願いいたします。

でしたが、頑張っていました。また、シーズン中の記録が評価され、埼玉県陸上競技強化指定選手に二名が指定され、熊谷や上尾の競技場で行われる強化指定練習会に参加させていただき、高いレベルの練習をすることができました。

平成28年度 部活動の記録

(主なもの)

弓道部 第43回所沢市民弓道大会 第44回所沢市民弓道大会 高校初級の部 優勝
陸上競技部 5月7日～9日 インターハイ県予選 (岡山県蒜山) 出場 第1位
男子テニス部 6月 県大会出場 団体戦ベスト16
ギター部 文化部 全国高校総合文化祭 文芸部 第47回埼玉文芸賞【俳句部門(五十句)】 第11回全国高校生短歌大会 (短歌甲子園2016) 全国ベスト16
美術部 平成28年度埼玉西部消防局火災 予防ポスター用絵画作品展 優秀賞 小・中・高校生による角川文庫POP コンクール 優秀賞
吹奏楽部 平成28年度埼玉県吹奏楽コンクール 地区大会Cの部 優良賞
演劇部 地区発表会 生徒投票において3年連続1位 全県11位
書道部 大東文化大学全国書道展 書の甲子園 和洋女子大学全国書道展 審査員奨励賞 入選 2名
化学部 埼玉県西部地区書初め展 毎日賞(第3位) 第68回埼玉県科学振興展覧会中央展 優秀賞「茶葉を利用した非白金燃料電池」
剣道部 4月 西部支部春季大会ベスト8 9月 秋季高校野球埼玉県大会出場 10月 高校選手権 県決勝トーナメント 一回戦 0-1 浦和
野球部 4月 剣道部 9月 秋季高校野球埼玉県大会出場 10月 関東大会県予選出場 インターハイ県予選2回戦
サッカー部 8月 高校選手権 県一次予選ブロック代表
男子バレーボール部 10月 埼玉県剣道大会高校男子の部 (県大会新人戦個人) ベスト16 所沢市三道大会高校男子の部優勝 男子バレー準優勝 東京都サマーフェスティバル 第3位
弦楽部 第41回全国高等学校総合文化祭器楽・管弦 器楽部門選考会において 同時に第41回全国高等学校総合文化祭 器楽・管弦楽部門埼玉県代表団体として 推薦された。

弓道部

第43回所沢市民弓道大会
第44回所沢市民弓道大会
高校初級の部 優勝

総合優勝

同窓会 報告

平成二十年卒業生同窓会

高澤 萌
平成二十年三月卒業

平成二十九年一月三日 池袋のパティオ
ティースペースを貸切り、学年での同窓会を行いました。
SNS世代なので、呼びかけや出欠確認等は全てライン、フェイスブックで行いました。

当時三年次にお世話になつた先生方にもお越しいただきました。年始という日程もあり、参加者は百十名ほどでしたが、先生方はお忙しい中、三名の先生方、大村先生、三上先生、渡辺先生にお越し頂きました。

所高を卒業してからの学年同窓会は、大学卒業の年に一度行つた通りなので、今回はおよそ六年ぶりです！社会人になってからは初めての集まりではありましたが、さすが“元・トココーセイ”、卒業以来に顔を合わせ方でも関係なく、すぐに打ち解けられていたように思います。

今回は「来ていただいた皆さんがあなた、楽しめるように」、をスローガンに会づくりを心がけました。

会場には写真撮影用コーナーを設けたり、各学年時のクラスで集まれるようになつたり、高校時代の懐かしいスライドや、景品をかけた白熱のゲーム（叩いてかぶつてジャンケンポン）等をしました。三上先生も快く引き受けってくれ、恩師にピコピコハンマーをふるうことになつてしましました：(汗)。



会も進み、一通り思い出話をすると、互いに身の上話をし、ちらほらと嬉しい報告も出てきました。二十六、二十七歳という年齢もあり、結婚や子どもができたという話や、仕事で言えば昇進や独立というお話も。私自身皆さんと会えて、顔を見て話すことができたことが何より嬉しかったのですが、幹事として嬉しかったのは、友情や、恋心や、お仕事、いろいろな繋がりの橋渡しやきっかけ作りになつたと、同窓会後、報告や感想をいたいたことでした。絆や人脈は作ろうとして簡単にできるものではないからこそ、繋がりは大切にしながら、各々それぞれの方向へ速度で歩んでゆければと思います。

～卒業して十年を迎えて～

平成十九年三月卒業

元二年三組同窓会 石井千恵子

平成二十九年一月二十八日に、卒業してから十年ぶりとなる同窓会を池袋のG-styleというお店で行いました。

この同窓会は三年生ではなく、二年生の時の同窓会ということで、連絡を取れるかどうかかもわからない状態だったにも関わらず、十七名もの仲間が集まりました。同窓会を開くにあたって、数ヶ月前から幹事で集まり、十年ぶりの高校を訪問して写真ムービーを作成しました。準備も楽しく、そして集まってくれる仲間達にも楽しんでもらえるような企画も考えました。

私たちのクラスは、担任の正田先生を始め男女ともに仲が良く、三年生の時には有志企画で「倒入dominichu」という、ドミノと卒業をテーマにしたとても変わった映画を撮つたりと、団結力が高い活動的なクラスでした。当日会場に集まり始めると最初は口数も少なく、緊張している様子が目立ちましたが、元々の仲の良さもあり、人数が集まり出すとあだ名で呼びあい、久しぶりに会えた事に声

をあげている姿がみられました。それぞれに近況報告をしてもらうと、

聞き入ったりする姿、ちょっと笑えるような合いの手を入れてしまう姿が見られ、年齢も状況も大人になつた私達でしたが、先生や仲間の前では変わらず、まだまだ所沢高校の生徒のまま：と懐かしさと安心感にホッとしてしまいました。

高校を訪問した時の写真に始まり、当時の写真や有志企画の映画をプロジェクターで流すと、「こんなことしてたつけ?」「相変わらず面白い」「恥ずかしい」など、悲鳴や笑い声が絶えず、更に昔を思い出ししながら話を深めていきました。

同窓会はあつという間に過ぎ、十一年の時と高校三年間の思い出を三時間で語るにはあまりにも短い時間でした。

これから、第二回、三回とこの同窓会を続けていける事を期待して、これからもどうぞよろしくお願ひします。



同窓会報告

昭和五十九年三月卒業

三年一組 同窓会報告

菅野（田近）由香
青野（福田）ひろみ

平成二十九年十月二十九日の土曜日に、紀尾井町にあるホテルニューオータニの「Bar Capri」で昭和五十九年卒業、三年一組の同窓会を行いました。普段の私たちはなかなか使えないこの会場は、同級生でこのバーの支配人である小森谷弘君のご好意で、使用できました。

当日は、遠くは金沢から合計二十名の参加がありました。担任の飯野民夫先生にも参加いただきて、盛大に行うことができました。三年一組は当時からやんちゃな生徒が多く、先生には大変ご迷惑かけた面々でした。しかし、それぞれの近況報告を聞くと、みな各方面で活躍し、先生自慢の生徒に変わっていました。先生も目を細めてみんなの活躍に耳を傾け、大変喜んでおられました。

昔話に花を咲かせ、おいしい料理を味わい、さらには小森谷君にはオリジナルのカクテルまでふるまつてもらいました。（ほんとうだったらいくら取られるんだろう。小森谷君

本当にありがとうございました。）先生のエピソードとしては、在学当時、多くの人が「君は成績が下から二番目だから行く大学がないよ。」と言われ、その大学に入学した、ということでした。校歌を歌つたり、写真撮影をしたり、あつという間に時間が過ぎました。飯野先生もよっぽど楽しかったのか、お酒が進み、絵にかいたような千鳥足で帰られていきました。そうして私たちも名残惜しく、散会したのでした。

年月を経て、母校や仲間達が懐かしく思われます。また、それぞれの近況を聞けば、卒業後の人生に様々な苦労もあつたのだなということもわかりました。それでもそういうことを乗り越えていけるのは、「自由主立」の校風のもと、母校で培った力のおかげなのかと、あらためて実感した同窓会でした。



同窓会 報告・寄稿文

祝 傘寿の会

昭和三十年卒業A・D組

新田 兼久

昭和三十年二月「伸びゆく青年像」の除幕式を記念として卒業いたしました。

思えば現在地に新校舎が完成するまで、新入生は分校授業（男子現在秩父学園、女子所沢小学校前高等女学校）でした。

昭和二十七年八月下旬新校舎に机・椅子をリヤカーで引っ越し作業、坂が多く大変でした。

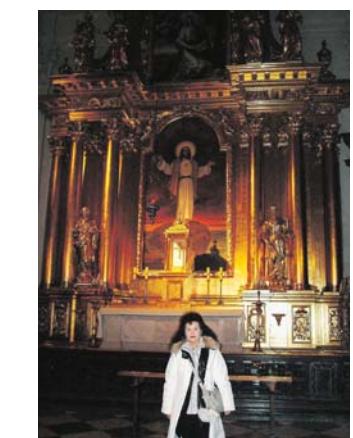
登下校の道は、茶畑ジャリ道で雨や雪の時は水たまりが出来、悩まされました。

理科の時間は平塚先生の指導の元、校庭の外周に植樹作業で学校の景観築きの役割がはたせ喜びを感じていきました。

普通科A組男子、D組女子でその後一組のカップルが誕生、同窓会は合同で開くムードが生まれ今日までもまいりました。

平成二十七年六月三日同窓会男子十四名、女子十四名、合計二十八名パークホテル開催。傘寿の会平成二十八年六月三日前回同窓会と参加者が二十八名で幹事もほつとしました。

世界を旅して



ポーランド「聖十字教会」



エルミタージュ美術館

同窓会がこのようにできるのも、母校が県西部地区の進学校として発展されたお陰と感謝しております。

今後、相互に身体を自愛して絆を大切にご多幸多かれど祈るのみでございます。

『ボーランドはショパンの生誕地であり、彼の心臓が安置されている「聖十字教会」は実に美しい教会で、プライベートコンサートではショパンの曲をたくさん聴くことができました。世界遺産の「ベイリチカ岩塩」洞窟では地下百メートル位まで降りました。シャンデリアまですべて岩塩でできており素晴らしい経験でした。



ロシアの「エルミタージュ美術館・エカテリーナ館・武器庫・赤の広場」などすべて観光するには一ヶ月くらい居たいと思いました。

フランスは南のアルル地方と北のモンサンミッシェルと全く異なる風景で、アルル地方では“ミレーの家”の中でも撮影できました。ミレーの描いた風景にも触れてきました。モンマルトルを散歩しゴッホの描いた“カフェ”、ゴッホの入院していた病院も数百年！そのままの状態で残されています。ヨーロッパが好きなのは何百年経つてもそのまま残されているところが魅力なのですね。』

「傘寿の会」に参加された松島満千代さんからは、イタリア、トルコ、

ギリシャ、フランス、ドイツ、ポーランド、ロシア、カナダ、オーストリア、チェコ、ハンガリーなど世界の国々の写真と紀行文を寄せていただきました。

平成29年度入試結果 大学・短大合格者数 (平成28年度卒業生・既卒生)

	大学名	合格数			入学数		
		現役	既卒	合計	現役	既卒	合計
国 公 立 大 学	宇都宮大	2		2	2		2
	京都府立大	1		1	1		1
	群馬大	1		1	1		1
	埼玉大	3	2	5	3	2	5
	埼玉県立大	3		3	3		3
	信州大	1		1	1		1
	東京学芸大	2		2	2		2
	長崎大		1	1		1	1
	新潟大		1	1		1	1
	北海道大		1	1		1	1
計		13	5	18	13	5	18
平成28年度入試		10	3	13	7	4	11

	大学名	合格数			入学数		
		現役	既卒	合計	現役	既卒	合計
私 立 大 学	青山学院大	9	6	15	6	1	7
	亜細亜大	9	1	10	4		4
	跡見学園女子大	6		6	4		4
	桜美林大	3		3			
	大阪芸大	1		1			
	大妻女子大	6		6	1		1
	嘉悦大	1		1	1		1
	学習院大	18	2	20	7		7
	学習院女子大	9	1	10	5		5
	神奈川大	1		1			
	関東学院大		1	1		1	1
	北里大	1	1	2			
	共立女子大	6		6	2		2
	杏林大	5		5	4		4
	工学院大	6		6	1		1
	国学院大	4		4	2		2
	国士館大	8	2	10	2	1	3
	駒澤大	19	3	22	9	1	10
	駒沢女子大	1		1	1		1
	埼玉医大	3		3	1		1
	埼玉学園大	2		2	1		1
	産業能率大	3		3	2		2
	実践女子大	7	1	8			
	芝浦工大	16	1	17	7		7
	十文字学園女大	5		5	2		2
	順天堂大			1	1		
	城西大	10	1	11	6		6
	城西国際大	1		1			
	上智大	3	4	7	2		2
	尚美学園大	2		2	1		1
	昭和女子大	7		7	2		2
	淑徳大	2		2			
	女子栄養大	1	1	2	1		1
	白梅学園大	1		1	1		1
	白百合女子大	1	1	2			
	駿河台大	4	1	5	1	1	2
	成蹊大	10	1	11	4		4
	成城大	5	7	12	2	3	5
	清泉女子大	3		3	2		2
	聖徳大	1		1			
	専修大	4	2	6	1	1	2
	創価大	2		2	1		1
	大正大	3		3	1		1
	大東文化大	15		15	3		3
	高千穂大	1		1			
	拓殖大	8		8	4		4
	玉川大	3	2	5	1	1	2
	中央大	12	6	18	7	2	9
	津田塾大	1	1	2		1	1
	帝京大	15	5	20	6	1	7
	帝京科学大	3		3	1		1
	帝京平成大	4		4	2		2
	デジハリ大	1		1	1		1
	東海大	2	1	3			
	東京家政大	13	3	16	9	3	12
	東京経大	12	2	14	5	1	6
	東京工科大	12		12	3		3
	東京国際大	9		9	3		3

	大学名	合格数			入学数		
		現役	既卒	合計	現役	既卒	合計
私 立 大 学	東京女子大	5		5	2		2
	東京電機大	14	2	16	6	1	7
	東京都市大			1	1		
	東京農大	3	6	9	2	3	5
	東京福祉大	1		1			
	東京薬大	1	1	2	1		1
	東京理大	6	6	12	4	1	5
	東邦大	1		1			
	東洋大	48	25	73	15	6	21
	東洋英和女子大	1		1	1		1
	東洋学園大	1		1			
	獨協大	20	2	22	3		3
	獨協医大	1		1			
	名古屋学院大	1		1			
	二松学舎大	1		1	1		1
	日本大	27	19	46	10	3	14
	日本医療科学大	4	1	5			
	日本工大	3	1	4			
	日本獣医学大	1		1	1		1
	日本女子大	4	1	5	1	1	2
	日本女子体育大	2		2	2		2
	日本薬大	3		3			
	文化学園大	5		5	4		4
	文教大	4	2	6	1		1
	文京学院大	5	1	6	2		2
	法政大	27	6	33	17	2	19
	武蔵大	19	3	22	7	1	8
	武蔵野大	5	3	8	3	1	4
	武蔵野美大	2		2	2		2
	明海大	1		1	1		1
	明治大	13	4	17	7		7
	明治学院大	2	1	3	1		1
	明治薬大	3		3	3		3
	名城大	1		1	1		1
	明星大	14	2	16	3	1	4
	自白大	2		2			
	立教大	18	4	22	13		13
	立正大	2		2	1		1
	立命館大	1		1	1		1
	早稲田大	6	6	12	4	2	6
	計	598	155	753	252	41	293
	平成28年度入試	534	79	613	243	27	269

	短大名	合格数			入学数		
		現役	既卒	合計	現役	既卒	合計
短 期 大 学	青山学院女短大		1	1		1	1
	埼玉医大短大	2		2	1		1
	埼玉女短大	1		1	1		1
	淑徳短大	1		1	1		1
	上智大短大	1		1	1		1
	女子栄養大短大	4		4	2		2
	帝京大短大	1		1			
	東京家政大短大	2		2	2		2
	東京女子体育短大	1		1			
	日本大短大	1		1	1		1
	計	14	1	15	9	1	10
	平成28年度入試	18	18	9	9		9

卒 業 生 集 計	種別	平成29年3月卒			平成28年3月卒		
		4年制大学	短期大学	専門学校(各種学校含む)	その他進学(留學等)	就職(公務員含む)	未定(浪人含む)
	4年制大学	265				253	
	短期大学	9				9	
	専門学校(各種学校含む)	31				32	
	その他進学(留學等)	1					
	就職(公務員含む)	2				3	
	未定(浪人含む)	52				65	
	センター出願者数	294				294	
	卒業生数	360				362	
	現役進学率	86%				81%	
入 試 方 法	平成29年3月卒業生	大学	短大	専門学校			
	一般入試	189			6	15	
	公募推薦・AO	23			3	14	
	指定校推薦	53				2	
	合計	265			9	31	



1組	太田 寿祈	滝園 美音
2組	斎藤 優弥	鴨野 葵
3組	遠藤 巧	岩田 夏穂
4組	八木 正太	中川 由惟子
5組	羽多野 伸	山本 華蓮
6組	宮川 蒼平	山岡 茉由
7組	横山 海友	松森 美音
8組	星野 恵介	古木 遥
9組	佐藤 己太郎	野田 葵

2017年度(平成29年度) 同窓会役員

役職	氏名	卒年	役職	氏名	卒年	役職	氏名	卒年
顧問	肥沼 金治	30	会計	滝島 孝一郎	43	常任幹事	田畠 喜久男	45
顧問	島田 孝男	33	監事	木村 一男	44	常任幹事	大館 隆行	46
顧問	当麻 実	36	監事	岡村 能成	47	常任幹事	駒原 光明	50
会長	松本 明信	38	常任幹事	小沢 郁夫	29	常任幹事	原田 喬夫	54
副会長	岩岡 民枝	29	常任幹事	小杉 正司	32	常任幹事	桑原 浩一	55
副会長	森田 貢	32	常任幹事	秋谷 積	36	常任幹事	大石 健俊	59
副会長	木下 武文	37	常任幹事	八木 勝利	36	常任幹事	元健介	60
副会長	西久保 正一	41	常任幹事	上原 芳江	37	常任幹事	大津 力	H2
副会長	本橋 栄三	43	常任幹事	大河原 勝次	39	常任幹事	山村 崇	H6
副会長	山下 成巳	59	常任幹事	加藤 幸造	40	常任幹事	金子 祐平	H20
副会長	三上 恭央	61	常任幹事	古谷 真一	43	校長	曾根 一男	
副会長	秋田 孝	62	常任幹事	富澤 行雄	44	事務局	正田 浩司	
会計	石井 里子	37	常任幹事	川名 美代子	44	事務局	森 みのり	

2016年度(平成28年度) 同窓会決算報告書

(単位:円)

科目	予算額	決算額	増減額	摘要	要
(1)会費	4,356,000	4,320,000	△36,000	入会金(2,000円)および終身会費(10,000円)×360名	4,320,000
(2)雑収入	20,000	6,498	△13,502	CD・校章バッジ・記念誌売上	6,000
(3)繰越金	8,320,717	8,320,717	0	利息	498
計	12,696,717	12,647,215	△49,502	平成27年度より繰越	8,320,717

2. 支出の部

科目	予算額	流用増減額	予算現額	決算額	残額	摘要	要
(1)事業費	4,000,000	0	4,000,000	2,913,686	1,086,314	同窓会報 印刷 発送 同窓会開催支援 在校生支援プログラム謝礼 部活動助成 卒業記念品 所高祭関係 ホームページ更新	760,644 1,620,890 20,394 40,000 110,000 157,075 9,419 195,264
(2)会議費	100,000	0	100,000	10,863	89,137	総会・役員会用茶菓	10,863
(3)事務費	200,000	0	200,000	20,805	179,195	郵券・ハガキ・郵送代 資料保存用段ボール 市内旅費	12,514 7,191 1,100
(4)諸費	200,000	0	200,000	0	200,000	慶弔費その他	
(5)会館整備費	400,000	0	400,000	225,774	174,226	清掃代 カーテンクリーニング代	147,366 78,408
(6)予備費	7,796,717	0	7,796,717	0	7,796,717		
計	12,696,717	0	12,696,717	3,171,128	9,525,589		

平成28年度収支 収入決算額 4,326,498 円

支出決算額 3,171,128 円

残額 1,155,370 円

3. 積立金

2,000,000円(埼玉りそな銀行所沢支店)

平成28年度決算報告書及び証拠書類を監査した結果、相違ないことを証明いたします。

平成29年5月11日 監事 木村 一男 監事 岡村 能成

上記の通り報告いたします。

平成29年5月13日 埼玉県立所沢高等学校同窓会長 松本 明信

2017年度(平成29年度) 同窓会予算書

(単位:円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	摘要	要
(1)会費	4,368,000	4,356,000	12,000	平成29年度3学年364名×12,000円	
(2)雑収入	20,000	20,000	0	校章バッジ・記念誌等売上、利息	
(3)繰越金	9,476,087	8,320,717	1,155,370	平成28年度より繰越	
計	13,864,087	12,696,717	1,167,370		

2. 支出の部

科目	本年度予算額	前年度予算額	摘要	要
(1)卒業生支援費	500,000	4,000,000	名簿発行、ホームページ管理、所高祭金画実施	
(2)在校生支援費	500,000		在校生支援プログラム謝礼、部活動助成、卒業記念品	
(3)同窓会報費	3,000,000		印刷、発送	
(4)会議費	100,000	100,000	役員会・総会茶菓等	
(5)事務費	200,000	200,000	郵券・ハガキ・郵送代(同窓会報発送以外)、市内旅費	
(6)諸費	200,000	200,000	慶弔費その他	
(7)会館整備費	400,000	400,000	会館清掃費	
(8)周年行事補助費	500,000	0	周年行事にかかる補助費(120周年)	
(9)予備費	8,464,087	7,796,717		
計	13,864,087	12,696,717		

3. 積立金

2,000,000円(埼玉りそな銀行所沢支店)

平成29年5月13日

埼玉県立所沢高等学校同窓会

同窓会総会・活動報告

五月十三日に同窓会役員会・総会が開催されました。十一ページのように、新役員・決算・予算が承認されました。

来年度、創立百二十周年を迎えるにあたり、事業計画として次の二点が提案され、承認されました。

- ①百二十周年に合わせて同窓会会員名簿を作成する。
- ②同窓会から周年行事補助費として五十万円を支出す。

同窓会会員名簿は創立百周年に向けて平成九年に発行されました。約二十年が経過しており、他の伝統校での発行なども参考にして、今回発行することになりました。また周年行事補助費につきましては、同額を後援会からも支出していただき、別立ての口座で管理することになります。同窓生のみなさまにもご理解・ご協力をお願いいたします。

また、在校生支援プログラム、所高祭での同窓会コーナー(所高祭九月九日(土)・十日(日))もさらに発展させて行く予定です。なお、恐れ入りますが、校内に駐車スペースがございませんので、ご来校の際に公共交通機関をご利用ください。

所沢高校同窓会 ホームページ

<http://www.tokoko-dosokai.jp>

○主な内容は ·歴史写真館 ·校歌、応援歌 ·同窓会報バックナンバー ·著名な同窓生 ·会員交流のページ ·クラス会の連絡、報告等

◇会報バックナンバーは、次のID・パスワードを入力のうえ、開いて下さい。

ID : **tokoko** パスワード : **midorino**

会員交流のホームページは、ホームページから個々に登録することで、使えるようになります。

HP開設の目的は、会員の皆様への情報提供ですが、それ以外にも、現役の所高生やこれから所高を受験しようと考えている中学生やその保護者の方への情報発信にも役立てば、と考えています。

どうぞ、ご協力をお願いいたします。

お願い

(クラス会等の幹事さんへ)
クラス会の開催予定や、楽しい報告がございましたら、ぜひお知らせ下さい。

お知らせ

INFORMATION

- 『所沢高校百周年記念誌』、写真冊子『所沢高校百年の歩み』、校歌・応援歌・商業学校学生歌・女学校朝会歌を収録したCDをご希望の方は所沢高内の同窓会事務局までご連絡ください。
- クラス会・同期会の幹事さんへ(お願い)
同窓会の様子を同窓会報の記事としてお寄せいただければ幸いです。ご協力をお願いいたします。
- 同窓会報で取り上げて欲しい話題等ありましたらご一報ください。また、活躍なさっている同窓生の方をご存知でしたらお知らせください。

- 住所変更等の場合は、ハガキなどの文書でご連絡ください。その際、記入欄は必ず記入ください。未記入の場合はお受けできない場合があります。なお、ハガキでの連絡で、個人情報を隠したい方は、お手数ですがハガキを封筒に入れご郵送ください。
- 同窓会名簿の取り扱いにはご注意をお願いいたします。名簿発行は、同窓会名簿に掲載されている同窓生の方の申請のみの受け付けとなります。発行のために身分証明書ご持参の上2度ほど所沢高にご来校いただくことになります。個人情報保護のため煩雑な手続きとなっておりますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。手続きの詳細につきましては、事務局までお問い合わせください。

印刷 049 (222) 1989	駒井光明氏(昭和50年卒) 毎日展審査会員
----------------------------	--------------------------

編集後記	
いよいよ来年度の百二十周年に向けて具体的な準備が始まりました。同窓生の皆さんにおかれましても、お喜びのことと拝察いたします。傘寿の会のご報告に「伸びゆく青年像」の紹介がありますが、未来を目指す本校のシンボルとして正門ロータリーで現在も前方を見つめています。	3 加入者名 埼玉県立所沢高等学校
更なる所沢高校の発展に向けてこれからもどうぞ応援をお願いいたします。	2 振り込み 口数 1 口
	1 郵便振り込みで、 0120-16-53754
	2 口座番号

所沢高等学校後援会 賛助会員加入のお願い

後援会事業は以下の3つの事業を通じて、本校の教育の発展・振興に大きく役立っています。

1 教育活動への助成

2 施設・設備の拡充援助

3 各行事への助成